

# 笑顔でつながる楽しい学舎づくり

～ふるさと協育ネット「チームだいどう」（仮称）～

【防府市 大道中学校区】

## 地域の概要

大道中学校区は、防府市西部の周防灘を望む風光明媚な高台に位置していますが、国道2号線や山陽自動車道や山陽新幹線などが東西に走る県内屈指の交通の要所でもあります。

また、旧山陽道の面影とともに、歴史的な遺産も数多く残されています。特に、鎌倉時代にはじまった小俣地区の神事「笑い講」（防府市指定無形民俗文化財）は天下の奇祭として有名です。

人口	5,422人	
世帯数	2,477世帯	
対象校及び 児童・生徒数	大道中学校	139人
	大道小学校	247人

## 地域における取組

### 1 地域協育ネット指定

大道中学校区は、平成23年8月に山口県教育委員会から実践協力校区指定（県内25中学校区）を受けました。地域協育ネットとは、学校・家庭・地域が連携協力して、社会全体で子どもたちの育ちや学びを支援していこうとする住民参加による教育支援体制のことですが、そこには「校区の課題を共有し適切な支援を協働実践する」という理念が込められています。

### 2 地域の教育力の現状

校区内には、小学校1校と高校2校及び短大があり、文教地区の色合いが強く、保護者や地域住民からは学校教育に対して大きな期待が寄せられています。また、「地域の子どもは地域で育てる」という風土があり、小・中学校の教育活動に対して惜しみない支援や協力体制がすでに出て上がっています。このように、大変恵まれた教育環境にあるため、児童生徒は純朴で概ね落ち着いた学校生活を送っており、学力的にも良好な状態を維持しています。しかしながら、子どもたちの夢の実現に向けて、さらに学校・家庭・地域それぞれの教育力を高めていくためには、今回の校区指定を千載一遇のチャンスと捉え、大道モデルの構築として取り組むこととしました。

### 3 地域と連携した既存の取組

大道地域には、「文教のまち・福祉のまち」をめざし大道地区の振興発展を図ることを目的とした「大道地区まちづくり推進協議会」が平成8年に発足しています。以来この組織が母体となって、その傘下にある45の各種団体により日々の活動が行われています。特に「子どもたちの育ちや学びを支援する」活動については、主に次の6団体が参画し、地域の教育力向上にも多大な貢献を果たしていただいています。

<子どもたちの育ちや学びを支援する地域の団体>

① 大道地区青少年育成協議会 「大道よくし隊」（非行防止声かけ運動）
② 大道子ども会育成連絡協議会
③ 大道地区民生児童委員協議会
④ 防府交通安全協会大道分会
⑤ 大道スポーツ少年団
⑥ 大道地区体育協会（地区体育祭、マラソン大会等）



交通安全祈願碑付近の小中  
合同美化活動（小俣交差点）

< 大道小・中学校における地域と連携した主な活動 >

	取組 (活動名称)
大道小学校	○コミュニティ・スクール推進事業調査研究校指定 (H22～H23)
大道中学校	○ふるさと学習 (1年)    ○職場体験学習 (2年) ○エコリーダー・スクール (県指定)
小中合同活動	○大道地区体育祭参加 (4月)    ○大道まつり参加 (11月) ○小中合同ボランティア活動 (地域の清掃・美化活動) ○リサイクル活動 (小中別: 年2回/アルミ缶・新聞等の資源回収)

紙面の都合で、今回は中学校の取組を中心に紹介しています。(下の画像)



リサイクル活動  
(エコリーダースクール活動)



調理実習  
(地域の人材活用)



通学路周辺整備作業  
(NPO活動)

組織の編成及び年次計画 (素案)

1 組織編成の方針

すでに多大な成果を上げている大道地域の「子どもたちの育ちや学びを支援するしくみ」をベースとして、これからの多様な課題に柔軟に対応できる継続的・発展的な組織を編成する。

また、計画の実施に当たっては、県及び市の施策の動向等も踏まえ、年次計画で推進する。

2 年次計画 (素案)

年度	主な事業内容
平成23年度	地域協育ネット指定 (8月)、既存組織の整理、組織編成構想 (素案) 作成
平成24年度	コミュニティ・スクール事業との一体化検討作業 組織の編成、活動実践、評価、年次計画の検討・見直し
平成25年度	活動実践、評価、次期計画検討・修正

今後の課題

現段階では、右図のような地域の協育ネットワークづくりを想定しています。

子どもたちの育ちや学びを支援し、教育的成果につなげるためには、人的・物的な地域の資源を効果的に活用しながら、参画者の達成感とともに、諸課題についての検討を通して、持続可能な取組とすることが重要であると考えています。

